

2020. 5. 3 (日) マタイ 19 : 27 ~ 30

[27] Τότε ἀποκριθεὶς ὁ Πέτρος εἶπεν αὐτῷ, Ἴδου ἡμεῖς ἀφήκαμεν πάντα καὶ ἠκολουθήσαμεν σοι τί ἄρα ἔσται ἡμῖν;

[28] ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτοῖς, Ἀμὴν λέγω ὑμῖν ὅτι ὑμεῖς οἱ ἀκολουθήσαντές μοι ἐν τῇ παλιγγενεσίᾳ, ὅταν καθίσῃ ὁ υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου ἐπὶ θρόνου δόξης αὐτοῦ, καθήσεσθε καὶ ὑμεῖς ἐπὶ δώδεκα θρόνους κρίνοντες τὰς δώδεκα φυλὰς τοῦ Ἰσραήλ.

[29] καὶ πᾶς ὅστις ἀφήκεν οἰκίας ἢ ἀδελφούς ἢ ἀδελφὰς ἢ πατέρα ἢ μητέρα ἢ τέκνα ἢ ἀγρούς ἔνεκεν τοῦ ὀνόματός μου, ἑκατονταπλασίονα λήμψεται καὶ ζωὴν αἰώνιον κληρονομήσει.

[30] Πολλοὶ δὲ ἔσονται πρῶτοι ἔσχατοι καὶ ἔσχατοι πρῶτοι.

19:27 そのとき、ペテロはイエスに言った。「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従って来ました。それで、私たちは何をいただけるのでしょうか。」

19:28 そこでイエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。人の子がその栄光の座に着くとき、その新しい世界で、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族を治めます。

19:29 また、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨てた者はみな、その百倍を受け、また永遠のいのちを受け継ぎます。

19:30 しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になります。

マルコ 10:28 ペテロがイエスにこう言い出した。「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従って来ました。」

10:29 イエスは言われた。「まことに、あなたがたに言います。わたしのために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子ども、畑を捨てた者は、

10:30 今この世で、迫害とともに、家、兄弟、姉妹、母、子ども、畑を百倍受け、来たるべき世で永遠のいのちを受けます。

10:31 しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になります。」

ルカ 18:28 すると、ペテロが言った。「ご覧ください。私たちは自分のものを捨てて、あなたに従って来ました。」

18:29 イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。だれでも、神の国のために、家、妻、兄弟、両親、子どもを捨てた者は、

18:30 必ずこの世で、その何倍も受け、来たるべき世で、永遠のいのちを受けます。」

<説教>

先には、「多くの財産を持っていた」青年が、「帰って、あなたの財産を売り払って貧しい人たちに与えなさい。…そのうえで、わたしに従って来なさい。」と言うイエスの命令に従うことなくイエスのもとを去って行きました。

それを見てイエスが「金持ちが天の御国に入るのは難しいことです。」と言われました。

すると弟子たちは大変驚いて、「それでは、だれが救われることができるでしょう。」と言いました。

それに対してイエスは、「それは人にはできないことですが、神にはどんなこともできます。」とお答えになりました。

というのがこれまでの出来事でした。

神に祝福されているはずの金持ちがイエスに従えないでイエスのもとを去ってしまった。

ならば金持ちでない自分たちは大丈夫か？救われるか？

また自分たちのうちにも金を愛する心があるのだが、大丈夫か？救われるか？

しかし「神にはどんなこともできます。」とイエスは言われましたので、ああどうやら大丈夫のようだ。

そう弟子たちは思い、安心し、再び希望が湧いてきたのでしょう。

そんな弟子たちをいつものように代表してペテロがイエスに言いました。

19:27 そのとき、ペテロはイエスに言った。「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従って来ました。それで、私たちは何をいただけるのでしょうか。」

この言葉には、あの金持ちの青年と自分たちを比較しての“得意”と“誇り”が相当含まれています。

そのことに対するイエスの戒めと警告は「しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になります。」(30)と 20 章 1 ～ 16 節での「ぶどう園の主人」のたとえによってなされることになります。

しかしイエスはまず、ペテロが言ったことを恵み深くも認めてくださいました。

4 章に書かれていたように、漁師だったペテロとアンデレ、またヤコブとヨハネは、「わたしについて来なさい。」とイエスに呼ばれたとき、すぐに網を捨てて、また舟と父親を残してイエスに従いました。

また 9 章に書かれていたように、取税人だったマタイも「わたしについて来なさい」とのイエスの召しを受けて、「立ち上がってイエスに従った」のでした。

「私たちは何をいただけるのでしょうか」とは、今後私たちはどうなりますか、というような意味の質問です。

イエスはお答えになり、彼らに用意されている神の素晴らしい賜物、約束について教えてくださいました。

19:28 そこでイエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。人の子がその栄光の座に着くとき、その新しい世界で、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に

着いて、イスラエルの十二の部族を治めます。

19:29 また、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨てた者はみな、その百倍を受け、また永遠のいのちを受け継ぎます。

「わたしに従って来たあなたがた」とイエスは言われました。

もしかしたら「すべてを捨てて」とはペテロの言い過ぎだったかもしれません。

しかしともかくもイエスはペテロを初め十二弟子たちがイエスに従って来たことを認めてくださいました。

そして今だけで無く、将来ご自分が「その栄光の座に着く」最終審判のとき、「その新しい世界で」もイエスは弟子と共にいてくださり、弟子たちをご自分の権威に与らせ、ご自分と共に「イスラエルの十二の部族を治め」ることになることを明らかにし、約束してくださいました。

当時のイスラエルの人々、特にパリサイ人や律法学者たちからすれば、彼らにではなくイエスなんかにつき従っていた弟子たちはイスラエルに対する反逆者、裏切り者、はずれ者、脱落者、世の流れに従わない変な人たちと見なされたわけです。

イエスの弟子たちは、イスラエルの人々中ではもはや高い地位につくことができない、出世コースから完全に外れた人たちでした。

イスラエルの多くの人々からは決して評価されず、むしろ反対にイエスのゆえに迫害され、攻撃されることになるのでした。

そのことは「使徒の働き」を見れば一層わかります。

それは人間の思いとしては決して喜ばしいものではなく、悲しい、いやなことでした。

しかし今はそのようにイエスのゆえに、イエスと共にイスラエルの同胞から断罪され、さばかれてもいる弟子たちがやがてイエスと共に治め、支配するようになる。

そのように弟子たちが地上でイエスのゆえに受ける同胞イスラエルからの迫害、困難、苦しみに対する豊かな神の報い、神による支配の逆転をイエスは約束し、励ましてくださいました。

また、イエスが「その栄光の座に着くとき、その新しい世界」ではない、今のこの世にあってもそれまでとは比べものにならないほど豊かで十分で完璧な「百倍」の恵みの報いがある、と言われました。

「わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨てた者はみな、その百倍を受け」るのです。

それは「今この世で」(マルコ 10:30)、また「必ずこの世で」(ルカ 18:30) のことです。

なお、「わたしの名のために」とイエスは言われました。

自分の野心や名誉や利益のために「家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨て」る人もいたかもしれませんが、それではイエスにとっては意味がありません。

イエスが責任を持って「百倍」を与えて報いてくださるのは、どこまでも「わたしの名のため」の犠牲に対してだとイエスは言われました。

イエスの名のために受ける「百倍」の「家、兄弟、姉妹、父、母、子ども」とは何でしょう。

それはなんと言っても神の「家」と言われる教会のことであり、教会のキリストにある

「兄弟、姉妹、父、母、子ども」ということでしょう。

イエスの肉の母と兄弟たちがイエスに話をしようとして来ていたのにイエスは「だれでも天におられるわたしの父のみこころを行うなら、その人こそわたしの兄弟、姉妹、母なのです。」(マタイ 12:50) と言われたことがありました。

イエスのゆえに自分の「家」から追い出され、「家、兄弟、姉妹、父、母、子ども」から捨てられた人にも(そのこと自体は人情としてはつらく悲しいことですが、)イエスにある真の「家、兄弟、姉妹、父、母、子ども」を与えて「百倍」豊かにまた完璧に報いてくださるとも言われるのです。

そして「畑」というのは生産手段であり、更には食扶持(くいぶち)すなわち食べ物、また食べ物を買うお金ということでしょう。

ですから「百倍」の「畑」とはやはり教会に関わることですが、教会の「兄弟、姉妹、父、母、子ども」のために必要に応じて分かち合う食べ物や物資のことでしょう。

初代教会がそうしていたことも「使徒の働き」を見ればよくわかります。

「信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。」(使徒 2:44-45)

「彼らの中には、一人も乏しい者がいなかった。地所や家を所有している者はみな、それを売り、その代金を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。その金が、必要に応じてそれぞれに分け与えられたのであった。」(使徒 4:34-35) とある通りです。

あの金持ちの青年のようであってはならないとペテロを初め弟子たちは心に刻んだのでしよう。

イエスのために、イエスのゆえに、「神のことばとイエスの証しのゆえに」(黙示録 1:9) 払うこの世での犠牲には、この世にある時からイエスが責任を持って「百倍」の豊かさ、完璧さで報いてくださると約束して下さったのです。

それに加えて「また永遠のいのちを受け継ぎます」と来たるべき世における報いを再び約束して下さったのです。

だからペテロを初めイエスの弟子たちは一層、このイエスに、イエスの恵みに依り頼み、信頼してますます「すべてを捨てて」イエスに従っていく必要がありました。

そのようにイエスはペテロを初め弟子たちをあわれみ深くお励ましになりました。

と同時に、イエスはそのときペテロの言葉の中に、彼を初め弟子たちの中にある誤った思いをもお見逃しにはなりませんでした。

それはあの、財産を売り払うことができずにイエスのもとを去って行った“情け無い”金持ちの青年と自分たちとを比較する思いでもありました。

神の戒めを完全に守っていると一言いながらイエスの命令を拒んだ彼と比べて、「自分たちはあのあわれな金持ちとは大違いだ。何と言ってもすべてを捨ててイエスに従って来たのだから。」という間違った誇り、自信でした。

19:30 しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になります。

あの金持ちの青年を「小さい者」「後にいる者」と見下し、自分たちを「大きな者」「先にいる者」と見上げていたペテロ他の弟子たちにイエスは警告をなさるのでした。

2020. 5. 3 (日) マタイ19:27~30

19:27 そのとき、ペテロはイエスに言った。「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従って来ました。それで、私たちは何をいただけるのでしょうか。」

19:28 そこでイエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。人の子がその栄光の座に着くとき、その新しい世界で、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族を治めます。

19:29 また、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨てた者はみな、その百倍を受け、また永遠のいのちを受け継ぎます。

19:30 しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になります。

<説教>

先には、「多くの財産を持っていた」青年が、「帰って、あなたの財産を売り払って貧しい人たちに与えなさい。…そのうえで、わたしに従って来なさい。」と言うイエスの命令に従うことなくイエスのもとを去って行きました。

それを見てイエスが「金持ちが天の御国に入るのは難しいことです。」と言われました。

すると弟子たちは大変驚いて、「それでは、だれが救われることができるでしょう。」と言いました。

それに対してイエスは、「それは人にはできないことですが、神にはどんなこともできます。」とお答えになりました。

というのがこれまでの出来事でした。

神に祝福されているはずの金持ちがイエスに従えないでイエスのもとを去ってしまった。

ならば金持ちでない自分たちは大丈夫か？救われるか？

また自分たちのうちにも金を愛する心があるのだが、大丈夫か？救われるか？

しかし「神にはどんなこともできます。」とイエスは言われましたので、ああどうやら大丈夫のようだ。

そう弟子たちは思い、安心し、再び希望が湧いてきたのでしょう。

そんな弟子たちをいつものように代表してペテロがイエスに言いました。

19:27 そのとき、ペテロはイエスに言った。「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従って来ました。それで、私たちは何をいただけるのでしょうか。」

この言葉には、あの金持ちの青年と自分たちを比較しての“得意”と“誇り”が相当含まれています。

そのことに対するイエスの戒めと警告は「しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になります。」(30)と20章1~16節での「ぶどう園の主人」のたとえによってなされることになります。

しかしイエスはまず、ペテロが言ったことを恵み深くも認めてくださいました。

4章に書かれていたように、漁師だったペテロとアンデレ、またヤコブとヨハネは、「わ

わたしについて来なさい。」とイエスに呼ばれたとき、すぐに網を捨てて、また舟と父親を残してイエスに従いました。

また9章に書かれていたように、取税人だったマタイも「わたしについて来なさい」とのイエスの召しを受けて、「立ち上がってイエスに従った」のでした。

「私たちは何をいただけるのでしょうか」とは、今後私たちはどうなりますか、というような意味の質問です。

イエスはお答えになり、彼らに用意されている神の素晴らしい賜物、約束について教えてくださいました。

19:28 そこでイエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。人の子がその栄光の座に着くとき、その新しい世界で、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族を治めます。

19:29 また、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨てた者はみな、その百倍を受け、また永遠のいのちを受け継ぎます。

「わたしに従って来たあなたがた」とイエスは言われました。

もしかしたら「すべてを捨てて」とはペテロの言い過ぎだったかもしれません。

しかしともかくもイエスはペテロを初め十二弟子たちがイエスに従って来たことを認めてくださいました。

そして今だけで無く、将来ご自分が「その栄光の座に着く」最終審判のとき、「その新しい世界で」もイエスは弟子と共にいてくださり、弟子たちをご自分の権威に与らせ、ご自分と共に「イスラエルの十二の部族を治め」ることになることを明らかにし、約束してくださいました。

当時のイスラエルの人々、特にパリサイ人や律法学者たちからすれば、彼らにではなくイエスなんかにつき従っていた弟子たちはイスラエルに対する反逆者、裏切り者、はずれ者、脱落者、世の流れに従わない変な人たちと見なされたわけです。

イエスの弟子たちは、イスラエルの人々中ではもはや高い地位につくことができない、出世コースから完全に外れた人たちでした。

イスラエルの多くの人々からは決して評価されず、むしろ反対にイエスのゆえに迫害され、攻撃されることになるのでした。

そのことは「使徒の働き」を見れば一層わかります。

それは人間の思いとしては決して喜ばしいものではなく、悲しい、いやなことでした。

しかし今はそのようにイエスのゆえに、イエスと共にイスラエルの同胞から断罪され、さばかれてもいる弟子たちがやがてイエスと共に治め、支配するようになる。

そのように弟子たちが地上でイエスのゆえに受ける同胞イスラエルからの迫害、困難、苦しみに対する豊かな神の報い、神による支配の逆転をイエスは約束し、励ましてくださいました。

また、イエスが「その栄光の座に着くとき、その新しい世界」ではない、今のこの世にあってはそれまでとは比べものにならないほど豊かで十分に完璧な「百倍」の恵みの報いがある、と言われました。

「わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨てた者はみな、その百倍を受け」るのです。

それは「今この世で」(マルコ 10:30)、また「必ずこの世で」(ルカ 18:30) のことです。

なお、「わたしの名のために」とイエスは言われました。

自分の野心や名誉や利益のために「家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨て」る人もいたかもしれませんが、それではイエスにとっては意味がありません。

イエスが責任を持って「百倍」を与えて報いてくださるのは、どこまでも「わたしの名のため」の犠牲に対してだとイエスは言われました。

イエスの名のために受ける「百倍」の「家、兄弟、姉妹、父、母、子ども」とは何でしょう。

それはなんと言っても神の「家」と言われる教会のことであり、教会のキリストにある「兄弟、姉妹、父、母、子ども」ということでしょう。

イエスの肉の母と兄弟たちがイエスに話をしようとして来ていたのにイエスは「だれでも天におられるわたしの父のみこころを行うなら、その人こそわたしの兄弟、姉妹、母なのです。」(マタイ 12:50) と言われたことがありました。

イエスのゆえに自分の「家」から追い出され、「家、兄弟、姉妹、父、母、子ども」から捨てられた人にも(そのこと自体は人情としてはつらく悲しいことですが、) イエスにある真の「家、兄弟、姉妹、父、母、子ども」を与えて「百倍」豊かにまた完璧に報いてくださるとも言われるのです。

そして「畑」というのは生産手段であり、更には食扶持(くいぶち)すなわち食べ物、また食べ物を買うお金ということでしょう。

ですから「百倍」の「畑」とはやはり教会に関わることですが、教会の「兄弟、姉妹、父、母、子ども」のために必要に応じて分かち合う食べ物や物資のことでしょう。

初代教会がそうしていたことも「使徒の働き」を見ればよくわかります。

「信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。」(使徒 2:44-45)

「彼らの中には、一人も乏しい者がいなかった。地所や家を所有している者はみな、それを売り、その代金を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。その金が、必要に応じてそれぞれに分け与えられたのであった。」(使徒 4:34-35) とある通りです。

あの金持ちの青年のようであってはならないとペテロを初め弟子たちは心に刻んだのでしよう。

イエスのために、イエスのゆえに、「神のことばとイエスの証しのゆえに」(黙示録 1:9) 払うこの世での犠牲には、この世にある時からイエスが責任を持って「百倍」の豊かさ、完璧さで報いてくださると約束してくださったのです。

それに加えて「また永遠のいのちを受け継ぎます」と来たるべき世における報いを再び約束してくださったのでした。

だからペテロを初めイエスの弟子たちは一層、このイエスに、イエスの恵みに依り頼み、信頼してますます「すべてを捨てて」イエスに従っていく必要がありました。

そのようにイエスはペテロを初め弟子たちをあわれみ深くお励ましになりました。

と同時に、イエスはそのときペテロの言葉の中に、彼を初め弟子たちの中にある誤った

思いをもお見逃しにはなりませんでした。

それはあの、財産を売り払うことができずにイエスのもとを去って行った“情け無い”金持ちの青年と自分たちとを比較する思いでもありました。

神の戒めを完全に守っていると言いながらイエスの命令を拒んだ彼と比べて、「自分たちはあのあわれな金持ちとは大違いだ。何と云ってもすべてを捨ててイエスに従って来たのだから。」という間違った誇り、自信でした。

19:30 しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になります。

あの金持ちの青年を「小さい者」「後にいる者」と見下し、自分たちを「大きな者」「先にいる者」と見上げていたペテロ他の弟子たちにイエスは警告をなさるのでした。

2020.5.3 (Sol) Mateo 19: 27-30

19:27 Entonces Pedro le dijo a Jesús. "Mira, hemos tirado todo y te hemos seguido. Entonces, ¿qué podemos hacer?"

19:28 Entonces Jesús les dijo. "De cierto os digo que cuando el Hijo del Hombre tome asiento de gloria, en el mundo nuevo que tú que me seguiste también vendrás a los doce asientos de las doce tribus de Israel. Yo gobernaré.

19:29 Y por mi nombre, cada casa, hermano, hermana, padre, madre, hijo y cualquiera que haya abandonado el campo recibe cien veces más que la vida eterna.

19:30 Pero muchos que vienen primero vienen después, y muchos que vienen después vienen primero.

<Predicación>

Antes de que el joven, que tenía "muchas propiedades", dijo: "Ve a casa, vende tu propiedad y entrégala a los pobres, y luego sígueme". Dejó a Jesús

Al mirarlo, Jesús dijo: "Es difícil para los ricos entrar en el reino de los cielos". Entonces los discípulos se sorprendieron mucho y dijeron: "¿Quién podría salvarse?" · ·

En respuesta, Jesús respondió: "Es algo que ningún humano puede hacer, pero Dios puede hacer cualquier cosa".

Eso fue lo que sucedió hasta ahora.

El hombre rico que debería haber sido bendecido por Dios dejó a Jesús sin poder obedecerlo.

Si es así, ¿no son ricos? ¿Serás salvo?

Además, todos tenemos un corazón para amar el dinero. ¿Serás salvo?

Sin embargo, Jesús dijo: "Dios puede hacer cualquier cosa", por lo que parece que está bien. · ·

Entonces los discípulos deben haber pensado, aliviados y esperanzados nuevamente.

Pedro le dijo a Jesús en nombre de tales discípulos como de costumbre.

19:27 Entonces Pedro le dijo a Jesús. "Mira, hemos tirado todo y te hemos seguido. Entonces, ¿qué podemos hacer?"

Esta palabra incluye una cantidad considerable de "bondad" y "orgullo" de comparar a ese joven rico con ellos mismos.

El mandamiento y advertencia de Jesús es "Pero muchos que vienen primero vienen después, y muchos que vienen después vienen" (30) y 20: 1-16, "En la viña. Será hecho por la parábola del "maestro".

Sin embargo, Jesús primero graciosamente reconoció lo que dijo Pedro.

Como estaba escrito en el capítulo cuatro, los pescadores Peter y Andrew, y Jacob y John abandonaron inmediatamente la red cuando Jesús lo llamó, "Sígueme". Se fue y siguió a Jesús.

Además, como se describe en el Capítulo 9, Mateo, que era recaudador de impuestos, recibió un llamado de Jesús para "seguirme" y "levantarse y obedecer a Jesús".

"¿Qué podemos hacer por usted?" ¿Es una pregunta que significa, qué nos pasará en el futuro?

Jesús respondió y nos enseñó los maravillosos dones y promesas de Dios que tenían.

19:28 Entonces Jesús les dijo. "De cierto os digo que cuando el Hijo del Hombre tome asiento de

gloria, en el mundo nuevo que tú que me seguiste también vendrás a los doce asientos de las doce tribus de Israel. Yo gobernaré.

19:29 Y por mi nombre, cada casa, hermano, hermana, padre, madre, hijo y cualquiera que haya abandonado el campo recibe cien veces más que la vida eterna.

Jesús dijo: "Tú que me seguiste".

Tal vez fue la exageración de Peter "descartar todo".

Pero de todos modos, Jesús reconoció que Pedro y los doce discípulos lo siguieron.

Y no solo ahora, sino en el futuro cuando seas el juez final "para alcanzar esa gloria", Jesús estará con sus discípulos en "el mundo nuevo", dándoles autoridad a los discípulos, Hizo una promesa y prometió que "gobernaría las doce tribus de Israel" consigo mismo.

Desde la perspectiva de los israelitas en ese momento, especialmente los fariseos y los estudiosos de la ley, los discípulos que siguieron o no a Jesús eran rebeldes, traidores, forajidos, desertores y extraños de Israel. Se les consideraba las personas adecuadas.

Los discípulos de Jesús eran aquellos que estaban completamente fuera de la carrera, que ya no podían alcanzar una posición alta entre los israelitas.

Nunca fue apreciado por muchas personas en Israel, pero por el contrario fue perseguido y atacado por Jesús.

Puedes entender eso más si miras la obra de los apóstoles.

No era un sentimiento humano feliz, sino algo triste y desagradable.

Sin embargo, ahora, debido a Jesús, los discípulos que han sido condenados por los hermanos de Jesús y están siendo juzgados junto con Jesús eventualmente gobernarán y gobernarán con Jesús. Por lo tanto, Jesús prometió y alentó la recompensa del Dios rico por la persecución, la dificultad y el sufrimiento de sus compañeros israelitas, a quienes Israel recibiría por Jesús en la tierra.

También existe la recompensa de la gracia "cien veces mayor" de que Jesús no es "cuando alcanza su gloria, es ese nuevo mundo", que es rico, suficiente y perfecto en el mundo actual. Me dijeron

"" Por mi nombre, cada casa, hermano, hermana, padre, madre, hijo y cualquier persona que haya abandonado el campo recibe cien veces eso ".

Significa "ahora en este mundo" (Marcos 10:30) y también "en este mundo" (Lucas 18:30).

Jesús dijo: "Por mi nombre".

Algunas personas pueden haber abandonado sus casas, hermanos, hermanas, padres, madres, hijos y campos por sus propias ambiciones, honores e intereses, pero eso no tiene sentido para Jesús.

Dijo que Jesús es responsable de dar "cientos de veces" la recompensa por el sacrificio "por mi nombre".

¿Cuál es la "casa cien veces" "hermano, hermana, padre, madre, hijo" que recibimos por el nombre de Jesús?

Se refiere a la iglesia que se dice que es la "casa" de Dios, y significa "hermano, hermana, padre, madre e hijo" en Cristo de la iglesia.

La madre y los hermanos de carne de Jesús venían a hablar con él, pero Jesús dijo: `` Si alguien hace la voluntad de mi Padre en el cielo, él es mi hermano, mi hermana y mi madre. " (Mateo

12:50).

Para aquellos que han sido expulsados de su "casa" a causa de Jesús y abandonados por "casas, hermanos, hermanas, padres, madres y niños" (aunque esa es una condición humana dolorosa y triste) También se dice que dará una verdadera "casa, hermano, hermana, padre, madre, hijo" y "100 veces" de forma rica y perfecta.

Y el "campo" es un medio de producción y, además, significa tenencia de alimentos, o alimentos, y dinero para comprar alimentos.

Por lo tanto, el "campo" cien veces "todavía está relacionado con la iglesia, pero significa la comida y los suministros que se comparten según sea necesario para el" hermano, hermana, padre, madre e hijo "de la iglesia.

Puedes entender lo que estaba haciendo la Iglesia primitiva al ver la obra de los apóstoles.

"Todos los que se convirtieron en creyentes se convirtieron en uno y compartieron todas las cosas, vendieron propiedades y propiedades, y distribuyeron a todos según sus necesidades" (Hechos 2:44 -45)

"No había ninguno escaso. Todos los propietarios de la finca o la casa la vendieron, trajeron el precio y lo pusieron a los pies de los apóstoles. Pero fueron asignados según sea necesario. " (Hechos 4: 34-35).

Los discípulos, incluido Pedro, deben haber grabado en sus corazones para no ser como ese joven rico.

Por el sacrificio en este mundo que paga por Jesús, "por la Palabra de Dios y su testimonio" (Apocalipsis 1: 9), Jesús ha sido responsablemente "cien veces" rico desde el tiempo que estuvo en este mundo. Prometió que me recompensaría con perfección.

Además de eso, prometió nuevamente las recompensas del mundo venidero, diciendo: "Heredaré la vida eterna nuevamente".

Por lo tanto, Pedro y sus discípulos, incluido Pedro, tuvieron que confiar en Jesús por su gracia y confiar en él aún más.

Por lo tanto, Jesús animó amablemente a Pedro y sus discípulos.

Al mismo tiempo, Jesús no pasó por alto los falsos pensamientos de Pedro y sus discípulos en las palabras de Pedro.

También fue la idea de compararnos con el joven rico y "desalmado" que dejó a Jesús sin poder vender su propiedad.

Comparado con él, quien se negó a aceptar el mandato de Jesús mientras decía que guardaba todos los mandamientos de Dios, dijo: "No somos diferentes de ese hombre rico y lamentable. Estaba muy orgulloso y confiado.

19:30 Pero muchos que vienen primero vienen después, y muchos que vienen después vienen primero.

Jesús advirtió a Pedro y a sus otros discípulos, quienes despreciaban a ese joven rico como "pequeño" y "después" y se miraban a sí mismos como "grande" y "primero".